



愛知長久手ロータリークラブ

2015-2016



WEEKLY

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 小谷恒夫 幹事 青山和成 会報 宮下智香子

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



世界へのプレゼントになろう



本日 第 621 回例会 2016 年 1 月 26 日 (火曜日) 第 613 号

<本日のプログラム> Today's Program

卓話: 危機管理について

点鐘

<ロータリーソング> 「我らの生業」

講師: 高浜ロータリークラブ
黒田 勝基様

前回 第 620 回例会 2016 年 1 月 19 日 (火曜日) 記録

<ロータリーソング> 「それでこそロータリー」

総合司会 伊藤 真親 睦活動委員

<出席報告>

員総数 20 名

出席者 8 名 出席率 40.00 % 前々回補正出席率 95.00 %



カレーセット

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 小谷恒夫 会長



松下幸之助(まつしたこうのすけ) 大阪 RC

松下幸之助 (1960 年代初期頃)

生誕 1894 年 11 月 27 日

日本 和歌山県海草郡和佐村千旦ノ木 (現: 和歌山市禰宜)

死没 1989 年 4 月 27 日 (満 94 歳没)

日本 大阪府守口市

国籍 日本

職業 実業家、発明家

配偶者 むめの 松下正治 (実業家、幸子の夫)

井植歳男 (三洋電機創業者、むめの弟)

松下 幸之助（まつした こうのすけ、1894年〈明治27年〉11月27日 - 1989年〈平成元年〉4月27日）は、日本の実業家、発明家、著述家。

パナソニック（旧社名：松下電気器具製作所、松下電器製作所、松下電器産業）を一代で築き上げた経営者である。異名は経営の神様。

自分と同じく丁稚から身を起こした思想家の石田梅岩に倣い、PHP研究所を設立して倫理教育に乗り出す一方、晩年は松下政経塾を立ち上げ政治家の育成にも意を注いだ。

大阪に導入された路面電車を見て感動し、電気に関わる仕事を志し、16歳で大阪電灯（現：関西電力）に入社し、7年間勤務する。当時の電球は自宅に直接電線を引く方式で、電球の取り外しも専門知識が必要な危険な作業であったため、簡単に電球を取り外すことができる電球ソケットを在職中に考案する。

大阪府東成郡鶴橋町猪飼野（現：大阪市東成区玉津2丁目）の自宅で、妻むめのと、その弟の井植歳男（営業担当、後に専務取締役、戦後に三洋電機を創業して独立）、および友人2名の計5人で、同ソケットの製造販売に着手。しかし、新型ソケットの売り上げは芳しくなく、友人2名は幸之助のもとを去ったが、川北電気（現在のパナソニック エコシステムズ）から扇風機の部品を大量に受注したことにより窮地を脱した。その後、アタッチメントプラグ、二灯用差込みプラグがヒットしたため経営が軌道に乗る。

第二次世界大戦中は、下命で軍需品の生産に協力する。1943年4月に松下造船株式会社を設立し、海運会社出身の井植歳男社長の下で、終戦までに56隻の250トンクラスの中型木造船を建造した。次いで同年10月には盾津飛行場そばに松下航空機株式会社を設立し、空技廠の技術指導により強化合板構造の練習用木製急降下爆撃機『明星』を終戦までに7機試作、試験飛行に漕ぎ着けたものの、1機は間もなく空中分解し、航空機に求められる絶対的な品質と信頼性に対する認識不足から[2]惨憺たる失敗に終わった。

1957年には自ら巡回しての自社製品販売要請に応じた小売店を自社系列電器店網へ組み込み、我が国初の系列電器店ネットワークとなる「ナショナルショップ（現：パナソニックショップ）」を誕生させた。以後、幸之助の姿勢に共感した系列電器店が「ナショナルショップ」網へ次々新規参入。こうした「松下幸之助に対する小売店スタッフの強い忠誠心」がナショナルショップを（ピーク時に約2万7千店を誇る）国内最大の系列電器店ネットワークへと成長させる原動力となった

浅草寺（東京都台東区）の雷門と大提灯は、100年近く仮設状態のままになっていたところ、幸之助がポケットマネーを寄進して現在の形に再建された。提灯の『雷門』の下加輪には『松下電器産業株式会社 松下幸之助』と金文字で大きく刻んだ一際目立つプレートが貼られているが、これを『パナソニック』へ書き換える予定はない。

東京ディズニーシーのインディ・ジョーンズ・アドベンチャーのキューライン（queue - 並ぶ列）に展示中の、インディ博士の作業卓上の新聞には、幸之助の顔写真が載っている。これはパナソニックが同アトラクションのスポンサーであるためである

トヨタ自動車中興の祖・石田退三を師と仰ぎ、尊敬しており、自社の役員さえも石田の元に勉強させに行かせるほどであった

スバル・360に発売前から興味を示し、顧客第一号であった[7]。自動車製造進出のための研究に供したのみで、結局断念した。現車は分解され行方不明である

コンピュータについて、1960年の暮れにIBMと特許使用許諾契約を結んだ日本側15社のうちの一家に松下電器産業が含まれ[8]、日本電子計算機にも参加する[9]など、初期参入企業の一家であったが（実機「MADIC」の研究開発製造は松下通信工業（現パナソニック モバイルコミュニケーションズ））、1964年10月に撤退を表明した。

趣味は株式投資。ナショナル証券を自らの肝入りで1948年に設立したが、この分野で大成するには至らなかった。

晩年、雑誌の取材で「何かひとつ夢を叶えたとしたら何を望みますか?」と質問されたところ「今の全財産を渡すからもう一度二十歳に戻して欲しい。それが出来たら私はもう一度今と同じだけの財産を築いてみせる。」と答えたと言う。

40年連続で全国100位以内に登場した。この時期の幸之助は「億万長者」であり、一生で約5,000億円の資産を築いたと推定される

死亡時の遺産総額は約2450億円で日本で最高とされている

■ニコボックス■

- | | |
|---|-------|
| ・本日も宜しく御願ひ致します。 | 青山 和成 |
| ・お久しぶりです。本抛地トヨタ博物館!!本日も宜しくお願ひします。 | 丹羽 司一 |
| ・浅井さんようこそお越し下さいました。ナサニエル君よろしくお願ひします。 | 伊藤 広治 |
| ・本日は私達夫婦の結婚記念日です。40回目になります。本日皆さんの今年の抱負のお話楽しみにしています。 | 山田 文明 |
| ・本日もよろしくお願ひします。 | 中川 清子 |
| ・雪が心配ですね。本日もよろしくお願ひします。 | 林 正俊 |
| ・本年もどうぞ宜しくお願ひします。 | 伊藤 真 |
| ・本日もよろしくお願ひ致します。 | 小谷 恒夫 |

“バーゲンの 時には危険な ものもある 忙かわ回れ 大事なライフ”

<幹事報告>

- ① 再度ご連絡です。下期会費納入につきましては1月末までになっておりますが、なるべく早めのお振込みで御願ひ致します。
- ② 次週1月26日(火)は外部卓話(高浜 RC 黒田勝基様)になっておりますので、出席の程 よろしくお願ひいたします。
- ③ 再度御願ひです。例会でのお昼注文の関係で必ず木曜日までには伝助もしくは事務局までご連絡お願ひいたします。携帯メール・パソコンメールでも結構ですのでよろしくお願ひいたします。

● 第7回理事役員会報告

- ・職場例会について・・・三菱重工 MRJ セントレアのどれかを予定しています。
- ・ナサニエル君のご両親来日について・・・春頃の予定(クラブで予定調整する)
- ・東尾張分区ゴルフコンペ参加について・・・愛知長久手ロータリークラブ参加人数6名
- ・2016-17年度委員会構成について・・・各委員長に関しては決定

● 配布物・・・ロータリーの友1月号

<卓 話>

「今年度抱負」

<小谷恒夫会長>

こんにちは、2015-2016 会長職 も半年が過ぎました。

青山幹事の協力のもと、一緒に愛知長久手 RC を盛り上げてきました。

今期の活動である、駅に時計を寄贈する事と交換留学生の受け入れるという初めての試みも会員皆様の協力があり、少しづつ前に進んでおります。

交換留学生のナサニエル君(サニー)が来てくれて、愛知高校との繋がりや、受け入れてくれる 3 家族の方々に感謝しますと共に、トヨタ博物館での例会を開催できる事に有難味を感じます。

愛知長久手 RC の発展の為今後とも皆様の更なる協力をお願いいたします。

<青山和成>

昨年幹事という大役を授かり色々至らぬことばかりで皆様方に多大なるご心配とご迷惑と不安を与えてしまい誠に申し訳ありませんでした。自分なりに半年間、皆様のご支援、御協力の下、幹事として何もわからない中、とにかく何事も出席することに意味があり勉強に成ると頑張っていました。まだ半年もありませんが少しでも小谷会長を盛り上げ助け、ロータリアンとして知識を身に付け、この愛知長久手 RC の力に成れる！盛り上げていけるよう頑張っています。

そして仕事の方でも昨年 10 月に事務所と土場の引っ越しも終わり大きな借金を抱えてしまいましたが、今年は愛知長久手 RC を盛り上げて行くと同時に会社も仮設足場の架け払いリース部、塗装事業部で社員 5 名～10 名、職人さん 10 名くらいは必ず増やして更に盛り上げて行きたいと考えております。

本当に微力ではございますが本当にこの愛知長久手 RC が大好きに成ってきています。見捨てず暖かい心で、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。

<丹羽司一>

RC 運営の根幹は“愛”である。

レーモンド・チャンドラーという人が言いました。

「人間は遅くなければ生きていけない。同時に優しくなければ生きる資格がない」と言っています。即ち人間は遅くなければならないと同時に、優しさというものもなければなりません。よって心に「倫理」とか「愛」がなければならなのであります。人への思いやり、そして自分への優しさ。自分をいじめない事！要するに一人ひとりを大切にすることが大切なのであります。

今年も会員増強は元より、現会員一人ひとりを大切にしましょう！楽しい例会を心掛けましょう！

<白石政二郎>

今年の新年の抱負は、初志貫徹にしました。

今更ですが、この意味は、初めに思い立った志を変えず、最後まで貫き通す事です。昨年の自分を振り返ると、色々反省する事がいくつかありました。

個人的な事、会社経営の事、そしてロータリークラブの事、今年は気持ちを強く持って、やり通したいと思えます。

<伊藤広治>

ある忘年会で今年の反省と来年の目標得お一文字で示せと言われた時に、私は昨年の振り返りは「自」でありました。自分勝手にすぎたこともありましたが、自立の独立又、自信を振り返る年でもありました。

あまりにも自由になりすぎて楽しく飛び回りましたがふと自分の足が宙に浮いていることに気づき不安に思うこともありました。そこで来年の目標は「歩」という一文字にしました。自分の会社、これから自分が成していくことを計画し一步一步地に足をつけて歩んでいく年にしたいと考えています。

会社はムコに引き継げるようにキチンとしていきます。

又、今年は実家を改装し、親と孫も合わせて同居したいと思っています。課題は多々残っておりますが交渉中ではあります。特に嫁ですが、ひょっとしたら「歩」んでいる暇は無く「走」になっているかもしれません。後は地域貢献活動にも力を入れたいと思っています。昨年独立してからはながくて夏フェス・冬まつり等に参加していますが、市民まつりや小学校の特別授業にも復活したいと考えています。

<日野典子>

私は愛知長久手ロータリークラブに入って14年になります。14年が長いと思われがちですが、まだまだ知らないこともたくさんあります。今年もロータリーで知らない事や体験していない事を自分自身が知りたいと思っていますので積極的にロータリーの会議やイベントに出席したいと思っています。

もちろん世界大会にも出席して何かを感じて帰りたいと思っています。

<山田文明>

抱負としては、まず RC では親睦委員長として、副委員長の伊藤真さんや神谷さん達のような若い方々の行動力に助けをいただけて半年をなんとかやってきました。今日の卓話も出席の皆様が例会に出て良かったと思って頂けるように、皆さんに発言して頂ける時間を設けましたので、それぞれのお話をよろしく願い致します。それでは私の新年の抱負としては、今年2月の誕生日で古希を迎える年になり、仕事では二人の息子への事業継承の準備を進めています。昨年より日本一の寝具メーカーの西川産業と取引が出来るようになり、その関係で1月4日東京での初市にて息子と共に、ソフトバンクホークスの王貞治会長とお会い出来、写真を撮って頂き又、お話しもお聞きでき、その中では今まで常に自分の心の中での様々なプレッシャーと戦ってきたとのお話しでした。日々新た、常に新しいものに対して挑戦して来られた事をお聞きして、私も元気が湧いてきました。西川産業は今年創業 450 年の年を迎えて若社長の元気のあるお姿にも出会い、私共の店も又、新しく大きな道筋が出来たように感じて、とても良い新年を迎える事が出来ました。

今年も背伸びしないよう気を付けて頑張ろうと思います。

<中川清子>

今年健康に気をつけたいと思います。社長交代時期を考えながら、仕事の方も息子に引継いでいけるようにしていきたい。

<林 正俊>

元気な皆さんの顔を見ていると私も元気がもらえます。会社の定例会議と重なり遅れることもありますが今年度もよろしくお願い致します。

<伊藤 真>

2015 年は親睦委員として、また出席委員として、微力ながら、お手伝いさせていただきました。やってみると、何かとわからないことも多く、山田さんをはじめ、皆さんに助けていただきながらの半年でしたが、出来てないところが多く、また自分なりの反省点も出てきました。今からあと半年、皆さんに今以上例会に足を運んでいただけるように努めたいと思っています。

続いてロータリアン個人としては、今年の韓国ソウルの国際大会に出席したいと思っています。ソウルにお越しの皆様は足でまといにならないようにしたいのですが、どうなることやら、今から心配をしておりますが、これもまた初めての経験で、自分としては、大きなチャレンジになると同時に、ソウルでの国際交流を今年の豊富としたいと思っています。本年も皆様どうぞよろしくお願い致します。



2月2日(火)	2月9日(火)	2月16日(火)	2月23日(火)
外部卓話 (トヨタ博物館館長様)	会員卓話	会員卓話	会員卓話
(トヨタ博物館)	(トヨタ博物館)	(トヨタ博物館)	(トヨタ博物館)